

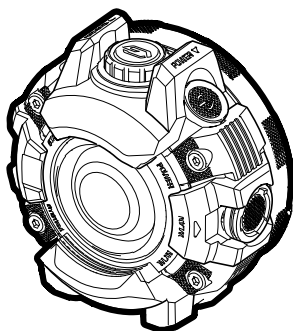
CASIO®

JA

デジタルカメラ

GZE-1

取扱説明書



このたびはカシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本機をご使用になる前に、必ず別冊「クイックスタートガイド」の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はお読みになった後も、大切に保管してください。
- 本製品に関する情報は、カシオオフィシャルWebサイト (<http://dc.casio.com/>) またはカシオホームページ (<http://casio.jp/>) でご覧になることができます。

カシオメンバーズ会員サイト登録のおすすめ

カシオメンバーズは、カシオ製品にご興味をお持ちの方向けに提供するカシオの会員サイトです。

ご入会されますと以下のサービスをご利用いただけます。

1. 様々なカシオ製品のユーザー登録ができます。
2. キャンペーンの応募などに便利です。
3. 情報満載のメールマガジンをご登録いただけます。

<https://members.casio.jp/jp/>

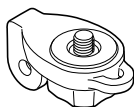


付属品を確認する

箱を開けたら、以下の付属品がそろっているか確認してください。そろっていないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



リチウムイオン充電電池
(NP-150)



アタッチメント用
アダプター



マイクロ
USBケーブル



クイックスタート
ガイド(保証書付き)

- お買い上げになった商品によっては、付属品が異なる場合があります。

あらかじめご承知ください

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。
- 万一、G'z EYEアプリ(アプリケーションソフト)の使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えません。
- 取扱説明書に記載している画面やイラストは、実際の製品と異なる場合があります。

撮影前は試し撮りを

必ず事前に試し撮りをして、カメラに画像が正常に記録されていることを確認してください。

目次

付属品を確認する	2
あらかじめご承知ください	3
各部の名称	6

■ はじめにご覧ください(基本的な操作) 7

専用アプリG'z EYEと別売品について	7
このカメラでできること	8
箱を開けたら、電池を充電する	10
■ 電池を入れる/充電する	10
■ 充電する	12
■ 電池の残量を確認するには	15
電源を入れる/切る	16
メモリーカードを準備する	17
■ 使用できるメモリーカード	17
■ メモリーカードを入れる	18
カメラとスマートフォンを接続する (無線接続)	19
■ スマートフォンにG'z EYEアプリをインストールする	20
■ カメラをG'z EYEアプリに登録する (ペアリング)	21
■ カメラとスマートフォンを無線LANで接続する	22
■ カメラとスマートフォンの無線LAN接続を終了する	23
カメラと別売のコントローラーを接続する	24
新しいメモリーカードをフォーマット(初期化)する	24
カメラと無線接続機器の登録を解除する	24

■ カメラ単体で撮影する 25

静止画や動画を撮影する	25
動画撮影中にスローモーション撮影する (ドラマチックスロー)	26

■ 撮影する(応用編) 28

プレミアムオート PROで静止画を撮影する	28
高速連写で撮影する	29
パスト連写で撮影する	29
タイムラプス動画を撮影する	30
静止画撮影時のご注意	30

■ カメラの設定を変更する 31

撮影メニュー一覧	31
■ 人物の顔を美しく撮影する (メイクアップ)	31
■ 動画撮影時の手ブレを軽減する (動画手ブレ補正)	31
■ 動画の画質を設定する (動画画質)	32
■ 明るさを補正する (明るさ)	32
■ 色合いを調整する (ホワイトバランス)	33
■ ISO感度を変える (ISO感度)	34
■ 動画撮影時の風の音を低減する (風音低減)	34

カメラセットアップメニュー一覧	35
■ カメラのランプの明るさを変える	(カメラLED設定) 35
■ カメラの向きを固定する	(回転ロック) 35
■ カメラの音を設定する	(カメラ音) 35
■ カメラの日時を設定する	35
■ メモリーをフォーマットする	(フォーマット) 35
■ 各種設定を購入直後の設定に戻す	(リセット) 36
■ ファームウェアのバージョンを確認する	(バージョン情報) 36
無線設定メニュー一覧	36
■ 撮影した画像をスマートフォンに自動で送信する	(自動送信) 36
■ 静止画をリサイズしてスマートフォンに送信する	(送信時リサイズ) 37
■ 画像に位置情報を付ける	37
■ 無線LAN接続時のカメラのパスワードを変更する	(無線LANパスワード) 38
■ カメラの登録を解除する	38

■ プリント(印刷)する 39

パソコンを使って印刷する	39
--------------	----

■ パソコンを利用する 40

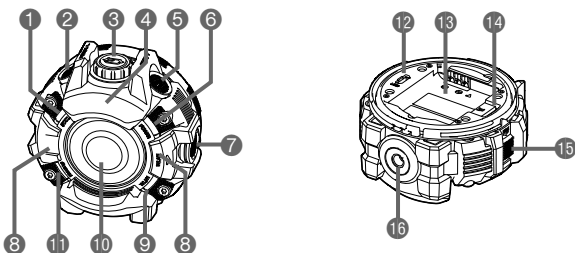
パソコンを使ってできること	40
Windowsパソコンを利用する	40
■ 画像をパソコンに保存する/パソコンで見る	41
Macintoshを利用する	44
■ 画像をパソコンに保存する/パソコンで見る	45
ファイルとフォルダーについて	47
メモリー内のデータについて	48

■ 付録 49

耐衝撃性能、防水/防塵性能について	49
使用上のご注意	52
電源について	66
■ 充電について	66
■ 電池に関するご注意	67
■ 海外で使うときは	67
メモリーカードについて	68
リセット操作でリセットされる内容	69
故障かな?と思ったら	70
■ 現象と対処方法	70
■ 【SYSTEM】ランプについて	71
撮影可能枚数/撮影可能時間	72
主な仕様/別売品	73
索引	76

各部の名称

各部の説明が記載されている主なページを()内に示します。



- | | | |
|----------------------------|-------------------------|-------|
| ① 【STATUS】ランプ
(25ページ) | ⑧ マイク(25ページ) | ⑬ 三脚穴 |
| ② 【/SLOW】ボタン
(25ページ) | ⑨ 【WLAN】ランプ
(22ページ) | |
| ③ 【】ボタン(25ページ) | ⑩ レンズ | |
| ④ スピーカー | ⑪ 【SYSTEM】ランプ | |
| ⑤ 【POWER】ボタン
(16ページ) | ⑫ 【USB】端子
(12、13ページ) | |
| ⑥ 【POWER】ランプ
(13、14ページ) | ⑬ 電池挿入部(10ページ) | |
| ⑦ 【WLAN】ボタン
(22ページ) | ⑭ メモリーカード挿入部
(18ページ) | |
| | ⑮ 【FREE】レバー
(10ページ) | |

はじめにご覧ください(基本的な操作)

専用アプリG'z EYEと別売品について

このカメラをスマートフォンや以下の別売品に接続できます。

■ 接続できる機器

スマートフォン

お使いのスマートフォンに専用アプリG'z EYEをインストールすると、スマートフォンを操作してカメラで撮影したり、設定を変更したりできます。

液晶コントローラー GEC-10 (別売品)

液晶モニターを見ながらカメラで撮影したり、設定を変更したりできます。

リモートコントローラー GEC-1 (別売品)

リモートコントローラーを操作してカメラで撮影できます。また、耐衝撃性、防水に優れているため、サーフィンなどのウォータースポーツにも適しています。

■ 操作できる機能

組み合わせ	撮影	カメラの アングル 確認	撮影モードの切り 替え	再生	カメラの 各種設定
カメラ単体 	○	×	△※1	×	×
カメラ+G'z EYEアプリ 	○	△※2	○	○	○
カメラ+液晶コントローラー 	○	○	○	○	○
カメラ+リモートコントローラー 	○	×	△※1	×	×

※1 オートとドラマチックスローの切り替えのみ可能

※2 一部を除き、動画撮影中はアングルの確認不可

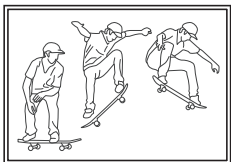
参考

- 本書では、カメラの操作方法を説明しています。G'z EYEアプリや別売品の操作方法は、各取扱説明書をご覧ください。

このカメラでできること

このカメラの代表的な機能を紹介します。

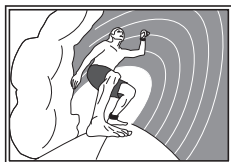
■ 撮る



ドラマチックスロー撮影

動画を撮影中に、部分的にスローモーション動画を撮影します。大技を決めている瞬間だけをスローモーションにした動画を撮影できます。

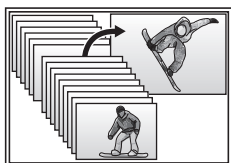
→26ページ



タフな環境性能

耐衝撃性、防水性能に優れてますので、サーフィンなどのウォータースポーツでも使うことができます。

→49ページ



高速連写

激しいアクションの撮りたい瞬間を逃さずに撮影できます。

→29ページ

■ スマートフォンと接続する



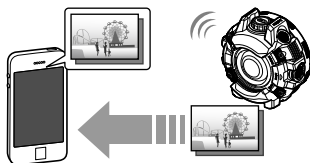
スマートフォンで撮影

スマートフォンを使用して、離れたところからカメラを操作して撮影できます。詳しくは、G'z EYEアプリの取扱説明書をご覧ください(20ページ)。



スマートフォンへ送る

カメラで撮影した静止画や動画を選んで、スマートフォンに送信できます。また、画像送信後にスマートフォンからSNSに送ることもできます。詳しくは、G'z EYEアプリの取扱説明書をご覧ください(20ページ)。



自動送信

Bluetooth無線技術でペアリング済みのスマートフォンに、撮影ごとに自動で画像を送信できます。詳しくは、G'z EYEアプリの取扱説明書をご覧ください(20ページ)。

箱を開いたら、電池を充電する

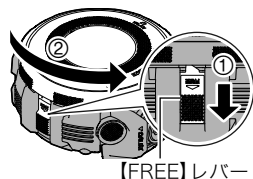
お買い上げ直後は、電池はフル充電されていません。次の手順でカメラに電池を入れたあとに充電してください。

本機は、当社の専用リチウムイオン充電電池(NP-150)を電源として使用します(NP-150以外の電池は使用できません)。

電池を入れる／充電する

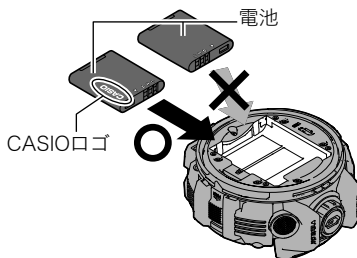
1. カバーを開ける。

【FREE】レバーを矢印の方向に引いたまま、カバーの▼を【FREE】レバーの位置まで左に回して、カバーを取り外します。



2. 電池を入れる。

電池のCASIOのロゴがある面を上にして、イラストのように電池をカメラに差し込みます。



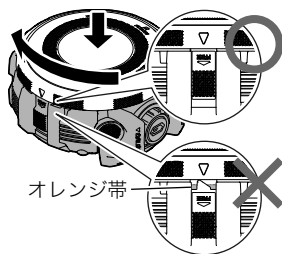
3. 電池を充電する。

充電方法については、12ページをご覧ください。

4. カバーを閉める。

カバーの▼を【FREE】レバーの位置に合わせて。カバーを押しながら、カチッと音がするまでカバーを右に回します。

- カバーの裏側(電池に接する側)にゴミや汚れがついていないことを確認してください。
- カバーを閉じたときに、オレンジの帯が見える場合は、カバーがしっかりと閉じていません。オレンジの帯が見えなくなるまでカバーを右に回してください。



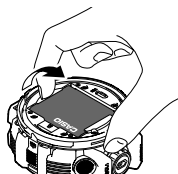
電池を交換する

1. 【POWER】ボタンを約2秒間押し続けて電源を切り、カバーを開ける(10ページ)。

2. 電池を取り出し、新しい電池を入れる。

イラストのように電池の端を持ち上げながら取り外します。

3. カバーを閉める(10ページ)。



重要

- 【POWER】ボタンを押して電源を切ったとき、【STATUS】ランプ(16ページ)が緑色に点滅している間は電池を取り出さないでください。データが消えたり、変化したりすることがあります。

充電する

本製品にはUSB-ACアダプターが付属されていません。付属のUSBケーブルまたは専用の充電器(別売品)を使用し、以下の方法で充電してください。

重要

- USB充電に対する機器や電源機器には、一定の規格があります。粗悪なもの、規格から外れるものは、機器の誤動作や故障の原因となることがありますので使用しないでください。また、USB-ACアダプターはお使いになる国によっては個別の規格が適用される場合がありますのでご注意ください。粗悪なもの、規格から外れるものの使用により生じた機器の誤動作や故障については、当社では一切その責任を負えません。

別売のUSB-ACアダプター(AD-54UJ)で充電する

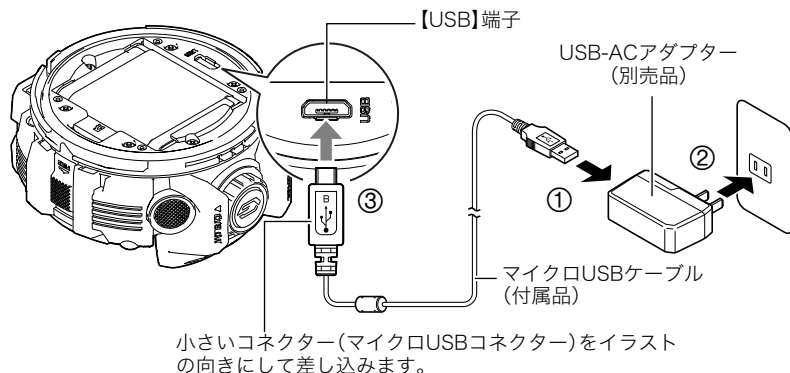
充電時間: 約2時間30分

カシオ純正のUSB-ACアダプターをお求めの際は、お買い求めの販売店またはe-casioカシオオンラインショッピングにご用命ください。

URL : <http://www.e-casio.co.jp/>

電池をカメラに装着したまま充電します。

カメラの電源が切れた状態で、①、②、③の順に接続します。



- カメラからアダプターを外す場合は、必ずカメラ側(上の図の③)から先に外してください。

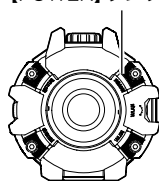
重要

- 長期間電池を使わなかった場合や周囲の温度によっては、充電時間がさらに延びる場合があります。また、【POWER】ランプが赤く点滅することがあります。その場合は、66ページをご覧ください。
- USB-ACアダプターがカメラと接続された状態で【POWER】ボタンを押すと、電池からの電源供給によってカメラが起動します。このとき、充電は停止します。
- 充電中、USB-ACアダプターは若干熱を持ちますが、故障ではありません。

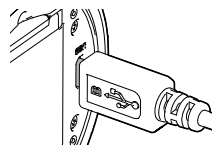
【POWER】ランプの動作

動作	内容
赤点灯	充電中
赤点滅	周辺温度の異常／USB-ACアダプターの異常／ 電池の異常(66ページ)／タイマーによる充電終了
消灯	充電完了

【POWER】ランプ



- 充電時には、初めに【POWER】ランプが点灯します。(フル充電の場合でも充電開始時に一旦点灯します。)一度も点灯しない場合には、USBケーブルの向きを確認してみてください。
- USBケーブル接続時は、ケーブルのコネクタをカチッとクリック感があるまでカメラへ押し込んでください。完全に挿入しないと、通信不良や製品の故障の原因となります。
- 完全に挿入しても、イラストのようにコネクタの金属部が見えます。

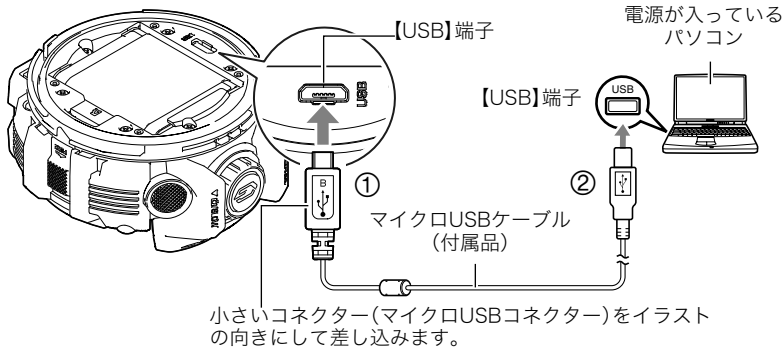


■ パソコンのUSB端子から充電する

充電時間: 約2時間55分

電池をカメラに装着したまま充電します。

カメラの電源が切れた状態で、①と②の接続をします。



- カメラの電源が入っているときはパソコンに接続する前に、【POWER】ボタンを約2秒間押し続けて電源を切ってください。

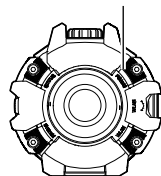
重要

- 初めてカメラをパソコンにUSBケーブルで接続したとき、パソコンにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合はUSBケーブルを一度抜き差ししてください。
- 長期間電池を使わなかった場合や、パソコンの種類や接続環境によっては、充電時間がさらに延びる場合があります。また、【POWER】ランプが赤く点滅することがあります。その場合は、66ページをご覧ください。
- パソコンでカメラを充電している最中は、撮影できません。撮影するときはUSBケーブルを抜いてください。
- パソコンでカメラを充電している最中に、カメラの電源を入れると充電を継続したまま、パソコンとのUSB通信状態に移行します。ただし、パソコンの種類や接続環境により給電能力が低い場合は、充電のみ停止します。このとき【POWER】ランプは緑色に点灯します。
- パソコンが休止状態のときは充電できません。

【POWER】ランプの動作

動作	内容
赤点灯(オレンジ点灯)	充電中
赤点滅	周辺温度の異常／充電時間の異常／電池の異常(66ページ)
消灯(緑点灯)	充電完了

【POWER】ランプ



- ()内は、充電中にカメラの電源を入れたときの動作です。

■ 専用充電器(BC-150L(別売品))で充電する

充電電池(NP-150)を直接充電できます。充電方法などについては、BC-150Lに付属の取扱説明書を参照ください。

- 充電時間
 - 別売のUSB-ACアダプター(AD-54UJ)と一緒に使って充電する場合:約2時間20分
 - パソコンのUSB端子から充電する場合:約2時間50分

■ パソコン以外のUSB端子から充電する

USB規格に適合し、かつ、以下の条件を満たしているUSB端子から充電できます。

- 出力電圧:5V
- 出力電流:2A以下

■ その他充電についてのご注意

- 充電機(NP-150)は本書指定の方法で充電してください。
- 本機はUSB2.0準拠のUSB端子からのみ充電できます。
- 自作のパソコンや改造したパソコンでの動作は保証できません。市販のパソコンでもUSBポートの仕様によっては、USBケーブルを接続しても充電されないことがあります。
- 使用直後の熱くなった電池は、十分に充電されない場合があります。電池が冷めるのを待ってから充電してください。
- 電池は使用しない場合でも、自己放電します。必ず充電してからご使用ください。
- 充電中、テレビやラジオに雑音が入ることがあります。その場合、テレビやラジオからできるだけ離れたコンセントをご使用ください。
- 充電時間は、電池の容量や残量、使用環境によって若干変化します。
- USBケーブルは付属のケーブルをご使用ください。付属以外のケーブルを使用すると充電されない場合があります。

電池の残量を確認するには

カメラの充電残量は、カメラの電源が入っているときの【POWER】ランプの色で確認できます。

【POWER】 ランプの色	緑	→	オレンジ	→	赤
電池の残量	多い	←	→	←	少ない

- 【POWER】ランプがオレンジ色で点灯している場合は、電池残量が少ないことを表しています。早めに充電してください。
- 【POWER】ランプが赤色で点灯しているときは、電池残量がほとんどありません。すぐに充電してください。
- 電池が消耗している状態でカメラを約20日放置すると、日時の設定がリセットされます。カメラの電源を入れたときに、G'z EYEアプリまたは別売の液晶コントローラーで日時を設定し直してください。
- 電池寿命と撮影枚数に関しては73ページをご覧ください。

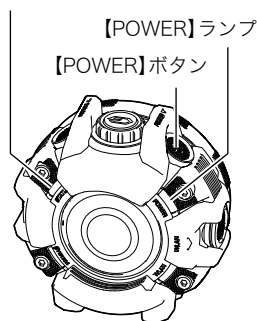
電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

【POWER】ボタンを押します。

- 電源が入ると、【POWER】ランプが電池の状態に応じて点灯します(15ページ)。この状態で撮影が可能です。

【STATUS】ランプ



スリープモードについて

カメラの電源を入れてから5分以上操作しないと、スリープモードになり、電池の消耗を抑えます。

スリープモード中は、【STATUS】ランプが緑色でゆっくり点滅します。スリープモード中にカメラを操作すると、スリープモードが解除されます。

■ 電源を切る

【POWER】ボタンを約2秒間押し続けます。

- 操作音が鳴り、【STATUS】ランプが数回点滅したらボタンを離してください。カメラの電源は、処理終了後に切れます。

メモリーカードを準備する

撮影する画像を保存するため、市販のメモリーカードをご用意ください(本機にメモリーカードは付属していません)。本機はメモリーを内蔵しており、この内蔵メモリーだけでも数枚程度の静止画や短い動画の撮影はできます。メモリーカードを入れているときはメモリーカードに、入れていないときは内蔵メモリーに記録されます。

- 内蔵メモリーに保存した静止画や動画は、カメラ内でメモリーカードにコピーはできません。
- 保存できる枚数については72ページをご覧ください。

使用できるメモリーカード

- microSDメモリーカード
- microSDHCメモリーカード
- microSDXCメモリーカード



- 使用できるメモリーカードの種類は2017年8月現在のものであります。
- microSD規格に準拠したメモリーカードに対応しており、規格上の容量は、microSDメモリーカードが2GB以下、microSDHCメモリーカードが2GB超～32GB以下、microSDXCメモリーカードが32GB超～2TB以下となります。前記のメモリーカードであっても、容量をはじめ、すべてのカードで動作を保証するものではありません。

当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。具体的なメーカー名や対応容量などの詳細は、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイトの「デジタルカメラお客様サポートメニュー」(<http://casio.jp/support/dc/>)をご覧ください。別冊「クイックスタートガイド」に記載の「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」にお問い合わせください。

⚠ 警告

- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

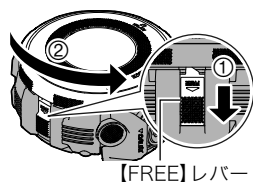


■ メモリーカードのご使用上の注意

メモリーカードの種類によっては、処理速度が遅くなる場合があります。特に高品位の動画は正常に記録できない場合があります。また、使用するメモリーカードによっては、記録時間がかかるため、画像が一瞬途切れたり、音声が中断する場合があります。

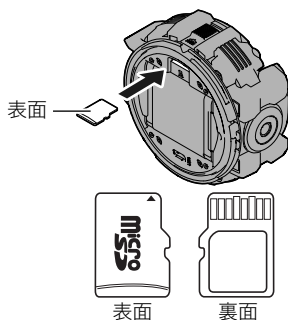
メモリーカードを入れる

1. 【POWER】ボタンを約2秒間押し続けて電源を切り、カバーを取り外す(10ページ)。

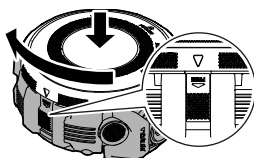


2. メモリーカードを入れる。

メモリーカードの表面を上にして、メモリーカード挿入口にカチッと音がするまで押し込みます。



3. カバーを閉じる(10ページ)。



重要

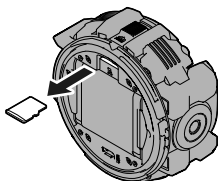
- メモリーカード挿入口には指定のメモリーカード(17ページ)以外のは入れないでください。
- 万一異物や水がメモリーカード挿入部に入り込んだ場合は、本機の電源を切って、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ メモリーカードを交換する

メモリーカードを押すとカードが少し出てきますので、引き抜いて別のメモリーカードを入れます。

★ 重要

- メモリーカードの交換は、カメラ本体の電源を切ってから行ってください。電源が入った状態で行くと、撮影された画像が記録されなかったり、メモリーカードを破壊する恐れがあります。



カメラとスマートフォンを接続する(無線接続)

本機はBluetooth®無線技術での接続機能と無線LAN接続機能の2つを搭載しています。G'z EYEアプリをインストールしたスマートフォンと本機を無線で接続すると、G'z EYEアプリを使って本機で撮影したり、本機の設定を変更したりできます。また、撮影した画像をスマートフォンに転送することもできます。

- 本機はBluetooth機器です。本機とBluetooth対応のスマートフォンをBluetooth無線技術で接続できます。



本製品には電波法に基づく工事設計認証(認証番号:007-AC0201)を受けた特定無線設備を内蔵しています。

★ 重要

- 航空機内など無線通信の使用が制限または禁止されている場所では、本機を使用しないでください。
- スマートフォンの機種によっては、受け取った動画をスマートフォンで再生できないことがあります。
- スマートフォン、OSのバージョン、ストレージの空き状況によって、動画や静止画がスマートフォンに保存されないことがあります。スマートフォンで画像を受信したあとは、スマートフォンで保存されていることを確認してください。
- Android™端末で受け取った動画について
 - “ギャラリー”アプリには動画は表示されません。動画はG'z EYEアプリフォルダーに保存されます。
 - 再生には、動画(MP4ファイルまたはMOV)が再生できる動画プレーヤーが必要です。動画のファイル形式は、お使いのスマートフォンによって異なります。
 - お使いの動画プレーヤーによっては、動画が再生できなかったり、音声が出ないことがあります。
- 他社のカメラで撮影した画像は、送信できません。

参考

- 無線機能を使用すると、通常よりも消費電力が大きくなります。電池が十分に残っている状態で使用してください。
- 操作可能範囲は、通信環境や接続するスマートフォンの機種によって変わります。

■ G'z EYEアプリについて

G'z EYEアプリの詳しい情報については、G'z EYEアプリの取扱説明書(下記のWebサイトからダウンロードすることができます)を参照ください。

<http://dc.casio.com/>

- G'z EYEアプリの取扱説明書をダウンロードする場合は、最初に言語(Japanese/日本語)を選択してください。
- G'z EYEアプリの取扱説明書(PDF版)を見るためにはAdobe Reader をインストールする必要があります。取扱説明書を見ることができない場合は、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」にお問い合わせください。

スマートフォンにG'z EYEアプリをインストールする

Google Play™またはApp Storeで専用アプリG'z EYEを検索して、スマートフォンにインストールしてください。

専用アプリG'z EYEが対応しているOS(AndroidまたはiOS)のバージョンは、Google PlayおよびApp Storeのダウンロードサイトで確認してください。

アプリの動作保証について

G'z EYEアプリは、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。

重要

- アプリの機能および動作環境は、予告なしで変更される場合があります。

■ Android端末の場合

1. “Playストア”(Google Play)を開く。
2. 検索フィールドに“G'z EYE”と入力する。
3. “G'z EYE”をインストールする。

■ iPhone(iOS)の場合

1. “App Store”を開く。
2. 検索フィールドに“G'z EYE”と入力する。

3. “G’z EYE”をインストールする。

カメラをG’z EYEアプリに登録する(ペアリング)

Bluetooth技術に対応しているスマートフォンをお使いの場合は、以下の手順に従って、カメラをG’z EYEアプリに登録してください。

- カメラをG’z EYEアプリに登録すると、カメラの日時がスマートフォンの日時と同期されます。
- カメラをG’z EYEアプリに登録後は、カメラの電源を入れるだけで、自動でスマートフォンとカメラがBluetooth無線技術で接続されます。

重要

- スマートフォンのWi-FiとBluetoothの設定をオンにしてから、以下の操作を行ってください。

1. スマートフォンで“G’z EYE”アプリを起動する。

- はじめて起動したときは、“ソフトウェア使用許諾契約”と“プライバシーポリシー”が表示されますので、“同意する”をタップしてください。その後、アプリの機能紹介が表示されます。画面を左右にスワイプすると、内容を確認できます。

2. G’z EYEアプリで“はじめる”をタップする。

3. カメラの電源が切れていることを確認する。

カメラの電源が入っている場合は、【POWER】ボタンを約2秒間押し続けて電源を切ってください。

4. カメラの【POWER】ボタンを6秒以上押し続ける。

【STATUS】ランプがオレンジ色で点滅して、G’z EYEアプリに登録するカメラの名前が表示されます。

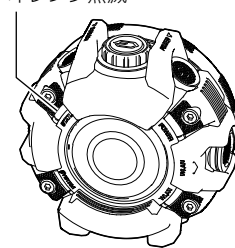
5. G’z EYEアプリで登録するカメラ名をタップする。

スマートフォンとカメラがBluetooth無線技術で接続されます。

6. G’z EYEアプリで“OK”をタップする。

カメラの登録が完了すると、【STATUS】ランプが消灯します。

オレンジ点滅



7. G’z EYEアプリで“OK”をタップする。

G’z EYEアプリのトップ画面が表示され、“Bluetooth”が赤で表示されます。

- iPhone(iOS)の場合は、位置情報の利用を許可するかどうかのメッセージが表示されます。許可するかどうかを設定してください。
- 引き続き、カメラとスマートフォンを無線LANで接続してください(22ページ)。

カメラとスマートフォンを無線LANで接続する

以下の手順に従ってカメラとスマートフォンを無線LANで接続してください。

- G'z EYEアプリの“自動日時同期”の設定をオンにすると、スマートフォンとカメラを接続したときに、カメラの日時がスマートフォンの日時と同期されます。

参考

- スマートフォンのWi-Fiをオンにしてから、接続してください。
- 使用するスマートフォンの機種や状態によって動作は変わります。接続できないときはスマートフォンのWi-Fi設定を確認してください。

■ スマートフォンと初めて無線LANで接続する場合

1. カメラの【WLAN】ボタンを押す。

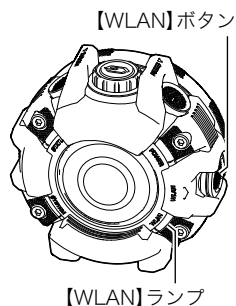
カメラの電源が入り、無線LANが起動します。

- 【WLAN】ランプが青色で点滅します。

2. スマートフォンのWi-Fi設定画面でカメラのSSIDを選び、パスワードを入力する。

カメラとスマートフォンが無線LANで接続され、

【WLAN】ランプが青色の点灯に変わります。



カメラのSSIDとパスワードについて

- カメラのSSID(変更不可)とパスワード(初期値)は以下のとおりです。
SSID:同梱の別紙「[重要] 本機のSSID について」をご覧ください。
パスワード:00000000
- カメラとスマートフォンがBluetooth無線技術で接続されている場合は、G'z EYEアプリのトップ画面下にある“Wi-Fi”をタップすると、カメラのSSIDとパスワードが表示されます。

■ スマートフォンと無線LANで接続したことがある場合

1. カメラで【WLAN】ボタンを押す。

カメラの電源が入り、無線LANが起動します。

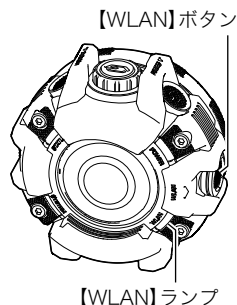
- 【WLAN】ランプが青色で点滅します。

2. スマートフォンで“G'z EYE”アプリを起動する。

3. G'z EYEアプリでトップ画面の下にある“Wi-Fi”をタップする。

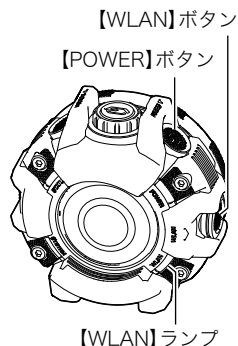
カメラとスマートフォンが無線LANで接続され、

【WLAN】ランプが青色の点灯に変わります。



カメラとスマートフォンの無線LAN接続を終了する

カメラの【WLAN】ランプが消灯するまで約2秒間【WLAN】ボタンを押し続けると、カメラとスマートフォンの接続が終了します。また、【POWER】ボタンを約2秒間押し続けてカメラの電源を切ることによって、カメラとスマートフォンの接続を終了することもできます。



カメラと別売のコントローラーを接続する

カメラに別売の液晶コントローラーやリモートコントローラーを登録して接続すると、別売品でカメラを操作できるようになります。カメラを別売品に登録するには、**【CAM/SLOW】**ボタンを押しながら**【POWER】**ボタンを6秒以上押し続けます。詳しくは、別売品の取扱説明書をご覧ください。

新しいメモリーカードをフォーマット(初期化)する

本機で初めて使用するメモリーカードは、カメラとスマートフォンが無線LANで接続された状態で、G'z EYEアプリ(20ページ)でフォーマットしてください。

1. スマートフォンで“G'z EYE”アプリのトップ画面の“設定”をタップする。
2. G'z EYEアプリで“カメラセットアップ”をタップする。
3. G'z EYEアプリで“フォーマット”をタップする。
4. “OK”を2回タップする。

重要

- すでに静止画などが保存されているメモリーカードをフォーマットすると、その内容がすべて消去されます。フォーマットは通常行う必要はありませんが、画像の記録速度が遅くなったなどの異常が見られる場合にフォーマットしてください。
- メモリーカードをフォーマットするときは必ずG'z EYEアプリまたは別売の液晶コントローラーでフォーマットしてください。パソコンでフォーマットするとSD規格非準拠となり、処理速度が著しく遅くなるなど、互換性や性能等で問題が生じる場合があります。

カメラと無線接続機器の登録を解除する

カメラの**【CAM】**ボタンと**【CAM/SLOW】**ボタンを押ししたまま**【POWER】**ボタンを6秒以上押し続けると、カメラから以下の機器の登録情報が削除され、登録が解除されます。

- G'z EYEアプリ
- 別売の液晶コントローラー
- 別売のリモートコントローラー

参考

- この操作を行うと、無線LANパスワードが初期値に戻ります。
- この操作では、G'z EYEアプリからカメラの登録情報は削除されません。G'z EYEアプリからカメラの登録情報を削除する方法は、G'z EYEアプリの取扱説明書をご覧ください。

カメラ単体で撮影する

静止画や動画を撮影する

カメラを操作して撮影できます。

1. カメラの電源を入れる(16ページ)。


前回カメラの電源を切ったときに設定していた撮影モードでカメラが起動します。

- お買い上げ直後はオートに設定されています。



2. カメラを被写体に向ける。

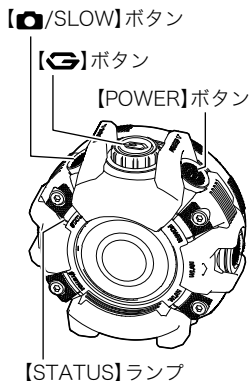
3. 撮影する。

■ 静止画を撮影する場合

【/SLOW】ボタンを押すと、静止画が撮影されます。静止画を撮影すると、【STATUS】ランプが赤色に一度点灯します。

■ 動画を撮影する場合

【】ボタンを押すと、撮影が始まります。再度【】ボタンを押すと撮影が終了します。動画撮影中は【STATUS】ランプが赤色で点滅します。



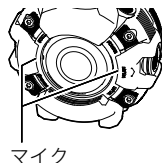
動画撮影時間について

長時間撮影した場合、撮影の途中で自動的にファイルが保存されます。保存される条件は、動画画質の設定によって異なります。

- FHD: 最長29分ごとにファイルを保存
- FHD以外: 最大4GBごとにファイルを保存

重要

- 動画を長時間撮影した場合、本機は若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- 動画は音声も同時に記録されますので、次の点に注意してください。
 - 指などでマイクをふさがないようにください。
 - 録音の対象がカメラから遠くに離れると、きれいに録音されません。
- 高い気温など高温の環境で動画を長時間撮影した場合、撮影画像にノイズ(輝点)が入ることがあります。また、内部温度の上昇により動画撮影の途中で強制的に動画撮影が終了する場合があります。その場合は本機の温度が下がってから動画撮影するようにしてください。
- 内蔵メモリ使用時やメモリーカードの種類によっては、処理速度が遅くなる場合があります。特に高品位の動画は正常に記録できない場合があります。また、使用するメモリーカードによっては、記録時間がかかるため、画像が一瞬途切れたり、音声が中断する場合があります。



参考

- 撮影の設定や撮影モードは、G'z EYEアプリで変更できます。詳しくはG'z EYEアプリの取扱説明書をご覧ください。

動画撮影中にスローモーション撮影する(ドラマチックスロー)

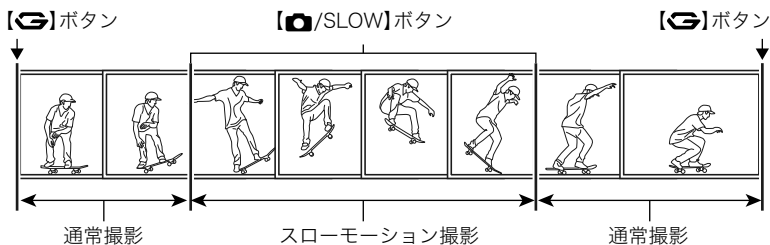
動画を撮影中に、部分的にスローモーション動画を撮影します。大技を決めている瞬間だけをスローモーションにした動画を撮影できます。

G'z EYEアプリまたは別売の液晶コントローラーを操作して以下の設定を変更できます。

スロー時間	ドラマチックスローモードで撮影時にスローモーション撮影される時間を設定します。 短い、標準、長い
スロー操作	スローモーション撮影を始めるタイミングを設定します。 アクション前: 【📷/SLOW】を押した直後をスローモーションで撮影します。 アクション中: 【📷/SLOW】を押す前後をスローモーションで撮影します。 アクション後: 【📷/SLOW】を押す前をスローモーションで撮影します。

重要

- カメラの撮影モードが“オート”で、カメラ単体またはリモートコントローラーのみがカメラに接続された状態のときのみ、カメラを操作して撮影モードを“ドラマチックスロー”に変更できます。カメラをスマートフォンまたは別売の液晶コントローラーに接続した場合の操作方法については、G'z EYEアプリまたは液晶コントローラーの取扱説明書をご覧ください。



1. カメラの電源を入れる(16ページ)。

- お買い上げ直後はオートに設定されています。

2. 【G】ボタンを約2秒間押し続ける。

撮影モードがドラマチックスローに切り替わり、
【STATUS】ランプがオレンジ色で点灯します。

- 再度【G】ボタンを約2秒間押し続けると、撮影モードが“オート”に戻ります。

3. カメラを被写体に向ける。

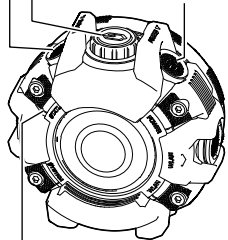
4. 【G】ボタンを押す。

動画の撮影が始まります。


【/SLOW】ボタン

【G】ボタン


【POWER】ボタン



【STATUS】ランプ

5. スローモーションにしたいタイミングで【/SLOW】ボタンを押す。

一定時間スローモーションで撮影された後、通常の動画撮影に戻ります。

- お買い上げ直後は、【/SLOW】ボタンを押した前後がスローモーションで撮影されます。
- 一度の撮影で、何回でもスローモーション撮影できます。

6. 【G】ボタンを押して撮影を終了する。

参考

- 撮影モードの切り替えは、G'z EYEアプリまたは別売の液晶コントローラーでもできます。
- 1ファイル4GBまで撮影できます。それを超えると、撮影が自動的に終了します。
- スローモーションで撮影中は、音声は録音されません。

撮影する(応用編)

カメラをスマートフォンまたは別売の液晶コントローラーに接続して撮影モードを変更することで、連写やタイムラプスも撮影できるようになります。G'z EYEアプリや液晶コントローラーの操作方法については、各取扱説明書をご覧ください。

参考

- カメラをスマートフォンに接続中にカメラを操作して撮影したい場合は、カメラを使って撮影できるようにG'z EYEアプリで設定してください。

プレミアムオート PROで静止画を撮影する

被写体や撮影環境などをカメラが自動的に判断し、オートよりも高画質で撮影できます。

1. G'z EYEアプリまたは別売の液晶コントローラーを操作して、撮影モードを設定する。

- G'z EYEアプリの場合: プレミアムオートPRO フォト
- 液晶コントローラーの場合: プレミアムオートPRO

2. カメラを被写体に向ける。

G'z EYEアプリまたは別売の液晶コントローラーをお使いの場合は、カメラが検出した撮影環境のアイコンが画面に表示されます。

3. 【/SLOW】ボタンを押す。

静止画が撮影されます。


参考

- プレミアムオート PROでは使用できないメニューがあります(31ページ)。
- シャッター速度、ISO感度などに加えて、カメラが次の機能なども自動的に作動させて撮影します。
 - 画面の中でピントを合わせるべき場所をカメラが自動的に判断し、そこへピントを合わせます。
- プレミアムオート PROで撮影すると、撮影後の処理に時間がかかる場合があります。画像処理時間が気になる場合は、撮影モードを“オート”に切り替えて撮影することをおすすめします。
- 撮影環境の検出が適切にできない場合があります。その場合は、撮影モードを“オート”に切り替えて撮影してください。
- 別売の液晶コントローラーをお使いのときに“HS”が画面に表示されたときは連写撮影によって1枚の画像が撮影されます。手ブレや被写体ブレに気をつけて、撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。


高速連写で撮影する


1回の撮影で、最大30枚連続で撮影できます。G'z EYEアプリまたは別売の液晶コントローラーを操作して、以下の設定を変更できます。





高速連写fps	連写の速度を設定します。 10fps(10枚/秒)、15fps(15枚/秒)、30fps(30枚/秒)
最大連写枚数	1回の撮影で撮影する最大枚数を設定します。 5枚、10枚、20枚、30枚

1. G'z EYEアプリまたは別売の液晶コントローラーを操作して、撮影モードを“高速連写”に設定する。
2. カメラを被写体に向ける。
3. /SLOW ボタンを押す。
あらかじめ設定した速度と枚数が撮影されます。

パスト連写で撮影する

/SLOW ボタンを押す前の映像も含めて連写できます。G'z EYEアプリまたは別売の液晶コントローラーを操作して、以下の設定を変更できます。

高速連写fps	連写の速度を設定します。 10fps(10枚/秒)、15fps(15枚/秒)、30fps(30枚/秒)
最大連写枚数	1回の撮影で撮影する最大枚数を設定します。 5枚、10枚、20枚、30枚
パスト連写枚数	 /SLOW ボタンを押す前の画像を何枚保存するかを設定します。 3枚、5枚、10枚、15枚、20枚、25枚

1. G'z EYEアプリまたは別売の液晶コントローラーを操作して、撮影モードを“パスト連写”に設定する。
2. カメラを被写体に向ける。
3. /SLOW ボタンを押す。
 - ・  ボタンを押すと、パスト連写をやめることができます。
4. /SLOW ボタンを押す。
/SLOW ボタンを押す前後の画像がカメラに保存されます。

タイムラプス動画を撮影する

一定の間隔で撮影した静止画をつなぎ合わせたような、アクティビティーの様子を早送りしているかのように見える動画を撮影できます。G'z EYEアプリまたは別売の液晶コントローラーを操作して、以下の設定を変更できます。

間隔	何秒ごとに撮影するかを設定します。 1/10秒、1/2秒、1秒、2秒、3秒、5秒、10秒、30秒
トータル時間	撮影時間を設定します。“OFF”に設定した場合は、撮影中に再度【G】ボタンを押すまで撮影が続きます。 5分、10分、30分、OFF

1. G'z EYEアプリまたは別売の液晶コントローラーを操作して、撮影モードを“タイムラプス”に設定する。
2. カメラを被写体に向ける。
3. 【G】ボタンを押す。
撮影が始まります。
 - 設定した時間が経過する、または【G】ボタンを押すと、撮影が終了します。

参考

- この機能での撮影では、動画画質がFHDに固定されます。また、音声は録音されません。
- タイムラプス動画は、20フレーム/秒で再生されます。

静止画撮影時のご注意

操作について

- 不要な光がレンズに当たるときは、手でレンズを覆って撮影してください。

蛍光灯の部屋での撮影について

- 蛍光灯のごく微妙なちらつきにより、撮影画像の明るさや色合いが変わることがあります。

その他のご注意

- CMOS撮像素子の原理上、動きの速い被写体が歪むことがあります。

カメラの設定を変更する

G'z EYEアプリや別売の液晶コントローラーを操作してカメラの撮影設定や基本的な設定を変更できます。操作方法については、G'z EYEアプリまたは別売の液晶コントローラーの取扱説明書をご覧ください。

撮影メニュー一覧

人物の顔を美しく撮影する(メイクアップ)

メイクアップを使って、肌の色味や肌質を調整して、人物の顔を美しく撮影することができます。

肌の色	肌の色味を褐色+6~0(切)~美白+6で調整します。
肌のなめらかさ	肌質を0(切)~+12(強)で調整できます。

参考

- メイクアップ機能は、以下の撮影モードで使用できます。
オート、プレミアムオート PRO

動画撮影時の手ブレを軽減する(動画手ブレ補正)

“標準”または“強”にすると、動画撮影時の手ブレを軽減できます。ただし、被写体ブレには効果がありません。また、画角が狭くなります。

参考

- ハイスピード動画撮影時、または撮影モードが“ドラマチックスロー”または“タイムラプス”の場合は動画手ブレ補正機能は動作しません。

動画の画質を設定する(動画画質)

動画の画質と撮影方法を設定することができます。

動画画質	撮影速度 (フレームレート)	画像サイズ (pixels)	説明
FHD	30fps	1920×1080	高精細な動画(フルハイビジョン動画)を撮影 できます。アスペクト比は16:9で撮影されま す。
STD	30fps	640×480	標準的な動画を撮影するときに選びます。ア スペクト比が4:3で撮影されます。
HS240	240fps	512×384	ハイスピード動画を撮影できます。
HS120	120fps	640×480	• 音声は録音されません。

参考

- 撮影モードが“ドラマチックスロー”のときは、動画画質をHS240またはHS120に設定で
きます。なお、“ドラマチックスロー”で通常動画を撮影中は、音声も録音されます。

明るさを補正する(明るさ)

撮影時の明るさに応じて、露出値(EV値)を手動で補正することができます。

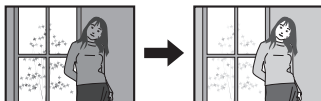
- 露出補正值: -2.0EV~+2.0EV
- 補正単位: 1/3EV

- 露出補正值を元に戻したいときは、“0.0”に設定してください。

－方向に補正。黒い物の撮影や晴天
の野外などの撮影に向きます。



＋方向に補正。白い物の撮影や逆光
での撮影に向きます。



参考

- 明るすぎたり、暗すぎたりするときは、露出補正ができない場合があります。
- カメラの電源を切ると、設定が初期値(0.0)に戻ります。

色合いを調整する(ホワイトバランス)

曇りの日に写真を撮ると被写体が青っぽく写る、または白色蛍光灯の光で撮ると被写体が緑がかった写るなどの現象を防ぎ、光源に合わせて被写体を自然な色合いで撮影できるように調整します。

設定項目	設定内容
オートWB	自動的にホワイトバランスを調整
太陽光	晴天時の野外での撮影用
曇天	薄雲～雨天の野外や木陰などの撮影用
日陰	晴天時のビルや木陰などの撮影用
昼白色	白色・昼白色蛍光灯下での色かぶりを抑えた撮影用
昼光色	昼光色蛍光灯下での色かぶりを抑えた撮影用
電球	電球の雰囲気消した撮影用
マニュアルWB※ ¹	さまざまな光源下で適正な色に手動で調整することができます。 設定したホワイトバランスは電源を切っても保持されます。

※¹ 別売の液晶コントローラーでのみ設定できます。

参考

- ・ “**AWB** オートWB”では、被写体の中から白色点を自動的に判断します。被写体の色や光源の状況によってはカメラが白色点の判断に迷い、適切なホワイトバランスに調整されないことがあります。この場合は、太陽光、曇天などの撮影条件を指定してください。
- ・ プレミアムオート PROでは、“**AWB** オートWB”に固定されます。
- ・ カメラの電源を切ると、設定が初期値(オートWB)に戻ります。

ISO感度を変える (ISO感度)

ISO感度とは、光に対する感度を表したものです。

設定項目	設定内容			
オート	撮影条件により自動調整します。			
ISO 80	感度が低い ↑ ↓ 感度高い	シャッター速度が遅い	なめらかに撮れる (ノイズが減る)	
ISO 100		↑ ↓	シャッター速度が速い (暗い場所での撮影向き)	多少ざらつく (ノイズが増える)
ISO 200				
ISO 400				
ISO 800				
ISO 1600				
ISO 3200				

参考

- ISO感度を高い値に設定すると、ノイズ低減処理のために、撮影が終了するまでの時間が長くなります。その間は操作しないでください。
- 以下の撮影モードでは、“オート”に固定されます。
プレミアムオート PRO、ドラマチックスロー、タイムラプス
- カメラの電源を切ると、設定が初期値(オート)に戻ります。

動画撮影時の風の音を低減する (風音低減)

動画撮影時に録音される風の音を低減したいときは“入”にしてください。ただし、音質が多少変化します。

カメラセットアップメニュー一覧

カメラのランプの明るさを変える(カメラLED設定)

カメラのランプの輝度を“明るい”または“標準”のいずれかに設定できます。

カメラの向きを固定する(回転ロック)

撮影時のカメラの向きを判別して、向きの情報も画像に保存するかどうかを設定します。

切	撮影時にカメラの向きを判別して、向きの情報も画像に保存します。再生時には、向きの情報に応じて表示されます。
ロック	撮影時にカメラの向きを判別せず、常に横向き画像として保存します。

参考

- 再生環境によっては、正しい向きに画像が表示されないことがあります。

カメラの音を設定する(カメラ音)

カメラの電源を入れたときや撮影時、およびエラーが起こったときなどの音の大きさを調節できます。“HI”(大きい)または“LOW”(小さい)のいずれかに設定できます。

参考

- 動画の再生音は調節できません。

カメラの日時を設定する

カメラの日時を設定し直すことができます。

参考

- カメラをスマートフォンに接続して、専用アプリG'z EYEでカメラの日時を設定することにより、カメラのタイムゾーンをスマートフォンのタイムゾーンに合わせて切り替えることができます。詳しくは、G'z EYEアプリの取扱説明書をご覧ください(20ページ)。

メモリーをフォーマットする(フォーマット)

カメラにメモリーカードが入っている場合はメモリーカードを、メモリーカードが入っていない場合はカメラの内蔵メモリーをフォーマットできます。

- フォーマットすると、メモリーの内容がすべて消去され、元に戻すことはできません。本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
- カメラの内蔵メモリーやメモリーカードをフォーマットした場合、フォーマットしたメモリー内のプロテクトされた画像も同時に消去されます。
- フォーマットするときは、電池残量が十分であることを確認してください。フォーマット中に電源が切れると、正しくフォーマットされず、カメラが正常に動作しなくなる恐れがあります。

各種設定を購入直後の設定に戻す(リセット)

購入直後の設定(初期値)については、69ページを参照ください。

参考

- リセットしても、G'z EYEアプリからカメラの登録は解除されません(19ページ)。

ファームウェアのバージョンを確認する(バージョン情報)

カメラの機種名、搭載されているファームウェアのバージョンを表示します。

- ファームウェアをバージョンアップしたあとは、この画面をご確認ください。

無線設定メニュー一覧

撮影した画像をスマートフォンに自動で送信する(自動送信)

“入”にして静止画を撮影すると、撮影した後にファイル転送が可能なタイミング(状態)で、画像ファイルがスマートフォンに無線送信されます。画像を送信中は、カメラの【WLAN】ランプが点滅または点灯します。

重要

- 自動送信は、カメラをG'z EYEアプリに登録(19ページ)していないと“入”に設定できません。

参考

- 動画は自動で送信されません。
- 自動送信できるのは、Bluetooth無線技術対応のスマートフォンだけです。また、カメラの画像が自動送信されるには、Bluetoothと無線LANの両方が接続されている必要があります。
- 送信する静止画の画像サイズは、“送信時サイズ”(37ページ)で設定できます。
- スマートフォンで受け取った画像は以下で確認できます。
 - iPhone: “写真”アプリの“カメラロール”
 - Android端末: “ギャラリー”、“フォト”などの写真閲覧アプリ
- 自動送信を“入”にして撮影した画像は、自動送信を“切”に設定してもスマートフォンに送信されます。
- 未送信の画像が残った状態でカメラとスマートフォンの接続が切れた場合は送信が中断しますが、再びカメラとスマートフォンを接続後にカメラがスリープモードになったら送信が再開します。
- スマートフォンに送信されていない画像を消去すると、自動送信は行われません。
- カメラとG'z EYEアプリの登録を解除すると自動送信は行われません。
- 自動送信中に、G'z EYEアプリを操作して送信をキャンセルできます。

静止画をリサイズしてスマートフォンに送信する(送信時リサイズ)

カメラの画像をスマートフォンに送信するときリサイズできます。

3M	3Mにリサイズされて送信されます。 • 3M以下の画像の場合は、撮影時のサイズで送信されます。
切	撮影時の画像サイズで送信されます。

参考

- 本機以外のカメラで撮影された画像はリサイズされません。

画像に位置情報を付ける

“入”にすると、スマートフォンに送信した画像に位置情報を埋め込むことができます。

重要

- 位置情報設定は、カメラをG'z EYEアプリに登録(19ページ)していないと設定できません。
- カメラとスマートフォンをBluetooth無線技術で接続したときのみ使用できます。
- 位置情報を“入”に設定すると、カメラで静止画を撮影すると共に、撮影した時点で位置情報をスマートフォンが取得します。
- カメラ内に保存された静止画に、位置情報は付け加えられません。位置情報はスマートフォンに送信されたのちに静止画に付け加えられます。
- この機能を使用するときは、必ずスマートフォンが位置情報を取得できる状態にしてください。スマートフォンが位置情報を取得できない状態になっていると、位置情報は付け加えられません。

無線LAN接続時のカメラのパスワードを変更する (無線LANパスワード)

カメラとスマートフォンを無線LANで接続するとき使用するパスワードを変更できます。

重要

- 無線LANパスワードの変更は、カメラとG'z EYEアプリの登録を解除してから行ってください(38ページ)。

参考

- 無線LANパスワードを変更すると、スマートフォンとの接続が解除されますので、再度無線接続設定を行ってください(22ページ)。なお、Bluetooth無線技術非対応のスマートフォンの場合は、下記のように操作して、スマートフォンのWi-Fi設定も変更してください。
 - iPhone:
Wi-Fiの設定のカメラのSSIDを表示している欄の右矢印をタップし、ネットワークの設定を削除してください。削除後、再びカメラのSSIDを選択して、新しいパスワードを入力してください。
 - Android端末:
Wi-Fiの設定のカメラのSSIDを表示している欄をタッチし、いったん切断を選択してください。再びカメラのSSIDを選択して、新しいパスワードを入力してください。

カメラの登録を解除する

カメラを他のスマートフォンに接続する場合は、G'z EYEアプリとカメラの登録を解除してください。登録は、G'z EYEアプリとカメラの両方から登録情報を削除することによって解除できます。

■ カメラからG'z EYEアプリの登録情報を削除する(ペアリング解除)

別売の液晶コントローラーを操作して、カメラからG'z EYEアプリの登録情報を削除します。

■ G'z EYEアプリからカメラの登録情報を削除する(登録解除)

G'z EYEアプリを操作して、G'z EYEアプリからカメラの登録情報を削除します。

参考

- カメラを操作して、カメラからG'z EYEアプリの登録情報を削除することもできます(24ページ)。

プリント(印刷)する

お店で プリントする

画像が入ったメモリーカードを、プリントサービスのお店に持参してプリントします。



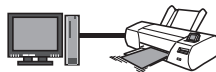
プリンターで プリントする

プリンターのスロットにメモリーカードを直接セットしてプリントできます。詳しくは、プリンターに付属の説明書に従って操作してください。



パソコンを使って プリントする

画像をパソコンに取り込んだ後、市販のプリントソフトを使ってプリントします。



パソコンを使って印刷する

パソコンに保存した画像を印刷する方法はさまざまですが、ここでは、一般的な印刷方法を説明します。

■ Windowsの場合

1. 「画像をパソコンに保存する/パソコンで見る」(41ページ)に従って、画像をパソコンに保存して、印刷したい画像を表示する。

2. “印刷”→“印刷”の順でクリックする。

3. 印刷内容を設定して、印刷する。
印刷内容を設定し、“印刷”をクリックしてください。

■ Macintoshの場合

1. 「画像をパソコンに保存する/パソコンで見る」(45ページ)に従って、画像をパソコンに保存して、印刷したい画像を表示する。



2. “ファイル”→“プリント”の順でクリックする。

3. 印刷内容を設定して、“プリント”をクリックする。
選択した画像が印刷されます。

パソコンを利用する

パソコンを使ってできること

カメラをパソコンに接続して、次のことができます。

パソコンに画像を保存して見る		<ul style="list-style-type: none">• 手動でパソコンに保存して見ることができません(USB接続)(41、45ページ)。
動画を再生・編集する		<ul style="list-style-type: none">• 動画を再生することができます(44、46ページ)。• 動画を編集する場合は、必要に応じて、市販のソフトをご利用ください。

操作のしかたは、Windowsパソコンの場合とMacintoshの場合で異なります。

- Windowsパソコンの場合→「Windowsパソコンを利用する」(40ページ)
- Macintoshの場合→「Macintoshを利用する」(44ページ)

Windowsパソコンを利用する

使用目的	OSのバージョン	必要なソフト
パソコンに手動で画像を保存して表示	Windows 10/ Windows 8.1/ Windows 7	インストールする必要はありません。
動画の再生	Windows 10/ Windows 8.1/ Windows 7	Windows Media Player 12

- 上記の環境は、動作を保証するものではありません。
- お使いのパソコンの性能、設定状態やインストールされているソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。

画像をパソコンに保存する／パソコンで見る

カメラをパソコンに接続して、画像（静止画や動画などのファイル）をパソコンに保存したり、パソコンで見ることができます。

内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。

画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。

重要

- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

参考

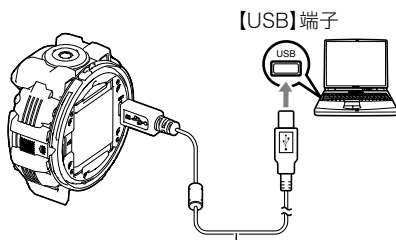
- 市販のカードリーダーやパソコンのカードスロットで、直接メモリーカードから画像を取り込むこともできます。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

■ カメラとパソコンを接続してファイルを保存する

1. 【POWER】ボタンを約2秒間押し続けて電源を切り、カバーを取り外す（10ページ）。

2. 付属のマイクロUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続する。

- カメラとの詳しい接続方法、接続時の注意などについては、13ページをご覧ください。



マイクロUSBケーブル(付属品)

3. カメラの【POWER】ボタンを押して、カメラの電源を入れる。

カメラの電源が入ると、カメラの【POWER】ランプが赤点灯から緑点灯またはオレンジ点灯に切り替わりますので、確認してください（14ページ）。

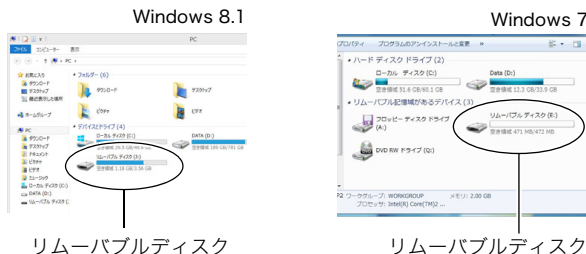
- 初めてカメラをパソコンにUSBケーブルで接続したとき、パソコンにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合はUSBケーブルを一度抜き差ししてください。

4. Windows 10: “スタート”→“エクスプローラー”の順でクリックし、サイドバーにある“PC”をクリックする。
 Windows 8.1: “デスクトップ”→“エクスプローラー”の順でクリックする。
 Windows 7: “スタート”→“コンピューター”の順でクリックする。



5. “リムーバブルディスク”をダブルクリックする。

- メモリーカードまたは内蔵メモリーは、「リムーバブルディスク」として認識されています。



6. “DCIM”フォルダーを右ボタンでクリックする。



7. メニューの“コピー”をクリックする。

8. Windows 10/Windows 8.1:“ドキュメント”をクリックする。
Windows 7:“スタート”→“ドキュメント”の順でクリックする。

- すでに“DCIM”フォルダーが保存されている場合は、上書きされてしまいます。すでに保存されている“DCIM”フォルダーの名前を変えるなどしてからコピーしてください。

9. Windows 10/Windows 8.1:“ドキュメント”メニューで、“ホーム”→“貼り付け”の順でクリックする。
Windows 7:“ドキュメント”メニューで、“整理”または“編集”→“貼り付け”の順でクリックする。

“DCIM”フォルダー(画像ファイルが保存されているフォルダー)が“ドキュメント”フォルダーにコピーされ、画像も一緒にパソコンに保存されます。

- コピーが完了したら、“DCIM”フォルダーを右ボタンでクリックし、フォルダーの名前を変更することをおすすめします。

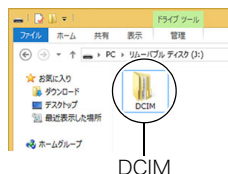
10. コピーが終了したらカメラをパソコンから外す。

パソコンのモニター上に表示されるコピーや読み込みの進行中の表示が終了してから、表示している画像を閉じ、USBケーブルを外してください。

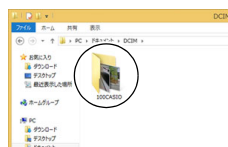
11. カバーを閉める(10ページ)。

■ パソコンに保存した画像を見る

1. コピーした“DCIM”フォルダーをダブルクリックして、フォルダーを開く。



2. 見たい画像が入ったフォルダーをダブルクリックして開く。



3. 見たい画像ファイルをダブルクリックして画像を表示させる。

- ファイル名については「メモリー内のフォルダー構造」(48ページ)を参照ください。



■ 動画再生のご注意

- パソコンに動画データを保存してから、その画像ファイルをダブルクリックして再生してください。ネットワーク上やメモリーカードなどにある動画データを再生しても、正しく再生できない場合があります。
- お使いのパソコンの性能によっては、正しく動作しない場合があります。その場合は以下をお試しください。
 - 開いている他のソフトウェアを閉じたり、常駐ソフトを止める。

Macintoshを利用する

使用目的	OSのバージョン	必要なソフト
パソコンに手動で画像を保存して表示	OS X	インストールする必要はありません。
パソコンに自動的に画像を保存／画像の管理	OS X	一部のMac製品本体に付属の「写真」または「iPhoto」
動画の再生	OS X 10.5以降	QuickTime Player

- 上記の環境は、動作を保証するものではありません。
- お使いのパソコンの性能によっては、正しく動作しない場合があります。

画像をパソコンに保存する/パソコンで見る

内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。

画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。

重要

- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。
- Mac OS Xの10.0～10.4ではご使用できません。10.5～10.11のみで使用できます(OS標準のUSBドライバーを使用)。

参考

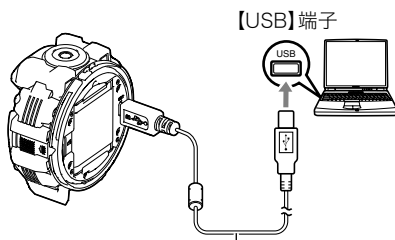
- 市販のカードリーダーやパソコンのカードスロットで、直接メモリーカードから画像を取り込むこともできます。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

■ カメラとパソコンを接続してファイルを保存する

1. 【POWER】ボタンを約2秒間押し続けて電源を切り、カバーを取り外す(10ページ)。

2. 付属のマイクロUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続する。

- カメラとの詳しい接続方法、接続時の注意などについては、13ページをご覧ください。



マイクロUSBケーブル(付属品)

3. カメラの【POWER】ボタンを押して、カメラの電源を入れる。

カメラの電源が入ると、カメラの【POWER】ランプが赤点灯から緑点灯またはオレンジ点灯に切り替わりますので、確認してください(14ページ)。

パソコンは、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを「ドライブ」として認識します。Mac OSのバージョンにより、表示されるアイコンが異なる場合があります。

- 初めてカメラをパソコンにUSBケーブルで接続したとき、パソコンにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合はUSBケーブルを一度抜き差ししてください。

4. 表示されたドライブをダブルクリックする。

5. “DCIM”フォルダーをデスクトップにドラッグアンドドロップして、画像をパソコンにコピーする。



6. コピーが終了したらドライブを“取り出し”または“ゴミ箱”へドラッグアンドドロップする。

7. カメラをパソコンから外す。

パソコンのモニター上に表示されるコピーや読み込みの進行中の表示が終了してから、表示している画像を閉じ、USBケーブルを外してください。

8. カバーを閉める(10ページ)。

■ パソコンに保存した画像を見る

1. 表示されたドライブをダブルクリックする。

2. “DCIM”フォルダーをダブルクリックして、フォルダーを開く。

3. 見たい画像が入ったフォルダーをダブルクリックして開く。

4. 見たい画像ファイルをダブルクリックして画像を表示させる。

・ ファイル名については「メモリー内のフォルダー構造」(48ページ)を参照ください。

■ 動画再生時のご注意

- ・ パソコンに動画データを保存してから、その画像ファイルをダブルクリックして再生してください。ネットワーク上やメモリーカードなどにある動画データを再生しても、正しく再生できない場合があります。
- ・ お使いのMacintoshの性能によっては、正しく動作しない場合があります。その場合は、以下をお試しください。
 - 実行中の他のソフトウェアを終了する

ファイルとフォルダーについて

本機では、撮影した静止画などのひとつひとつが個別のデータとして記録されます。個別のデータのことを「ファイル」と呼びます。各ファイルは、「フォルダー」と呼ばれるまとまりにグループ分けされます。ファイル、フォルダーには、区別のための名前が自動的に付きます。

- フォルダー構造の詳細は、「メモリー内のフォルダー構造」(48ページ)をご覧ください。

	名前と最大作成数	例
ファイル	"CIMG0001"から"CIMG9999"までで、最大9999個のファイルが1つのフォルダーに作成されます。拡張子は記録したファイルの形式によって異なります。	26番目に記録した ファイル名: CIMG0026.JPG └─┬─┘ 連番(4桁) 拡張子
フォルダー	"100CASIO"から"999CASIO"までで、最大900のフォルダーが作成されます。	連番100のフォルダー名: 100CASIO └─┘ 連番(3桁)

- フォルダー名、ファイル名は、パソコンで見ることができます。
- 保存できるフォルダー数、ファイル数は、サイズや画質、メモリーカードの容量によって異なります。

メモリー内のデータについて

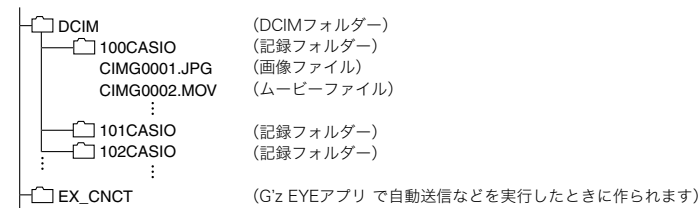
本機で撮影された画像は、DCF (Design rule for Camera File system) 規格に準拠した方法でメモリーへ保存されます。

■ DCF規格について

- 本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見ることができます。
 - 本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のプリンターで印刷することができます。
 - DCF規格対応の他社のカメラの画像を本機で見ることができます。
- ただし、上記項目の動作はすべて保証するものではありません。

■ メモリー内のフォルダー構造

メモリー



■ このカメラで扱える画像ファイル

- 本機で撮影した画像ファイル
- DCF規格に対応している画像ファイル

DCF規格の画像ファイルでも、使用できない機能がある場合があります。また、本機以外で撮影された画像の場合、再生にかかる時間が長くなる場合があります。

■ パソコン上で内蔵メモリー／メモリーカードを扱うときのご注意

- メモリーの内容をパソコンに保存する際は“DCIM”フォルダーごと保存してください。その際“DCIM”フォルダーの名前を年月日などに変えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンに保存したファイルをカメラに戻す場合は、フォルダー名をパソコン上で“DCIM”に戻しておいてください。本機では“DCIM”以外の名前のフォルダーは認識されません。“DCIM”フォルダー内の他のフォルダー名を変えた場合も同様です。
- フォルダーやファイルをカメラで正しく認識させるためには、メモリー内のフォルダー構造が48ページのフォルダー構造のとおりである必要があります。

耐衝撃性能、防水／防塵性能について

本製品は、耐衝撃性能、防水／防塵性能を備えています。

● 耐衝撃性能：

MIL-Standard 810G Method 516.7-Shockを参考に策定した当社独自規格による試験※1をクリアしています。※2

※1 4mの高さから、合板(ラワン材)への落下試験

※2 投げつけたり、無理な落とし方をするなど、故意に極度な衝撃を与えた場合は壊れる場合がありますのでご注意ください。また、本機の性能に異常がなくとも落下衝撃にてキズ等が発生します。

● 防水性能：

JIS／IEC防水保護等級8級(IPX8)※3および6級(IPX6)に相当します。水深50.0mの水中で30分間の連続使用※4ができるほか、あらゆる方向からの水の直接噴流にも耐えられます。※5サーフィンのようなウォータースポーツにも使用できます。※5 ※6

※3 当社の定める指定時間および指定圧力の水中で使用可能なことを意味しています。

※4 当社の定める試験条件によります。

※5 サーフィンを想定した当社独自の防水性能試験を実施。

※6 すべてのウォータースポーツに対して防水性能を保証するものではありません。

● 防塵性能：

JIS／IEC防塵保護等級6級(IP6X)に相当します。

※ 重要

- 本製品の耐衝撃性能、防水／防塵性能は、当社試験方法によるもので、無破損・無故障・性能を保証するものではありません。

■ 水中で使用する前のご注意

本機は水深50.0mまでの環境で水中撮影を行うことができますが、以下の点に注意してお使いください。

- 水中や水滴がかかる場所で撮影すると、撮影中や次の撮影時にレンズ部が曇る場合があります。
- 水辺や潮風のあたる場所でのカバーの開け閉め、および濡れた手や砂などの異物が付いた手での開け閉めは避けてください。浸水や故障の原因となります。
- カバーのパッキンとその接触面にゴミ、砂等の異物が付着していないことを確認し、異物が付着している場合は清潔で乾燥した柔らかい布で取り除いてください。たとえ髪の毛1本、砂粒1個など小さなものが挟まただけでも漏水することがあります。
- カバーの防水パッキンにひび割れ、キズ等がないことを確認してください。
- カバーは、しっかり閉じてください。
- 本機は水中に沈みますので、ご注意ください。
- 本機の防水機能は、海水と真水にのみ対応しています。温泉では使えません。
- 本機を低温下(水が凍結するような場所)、または高温になる場所(特に強い太陽光の当たるところ、炎天下の自動車内など)に長時間放置しないでください。防水性能が劣化します。
- 水中では無線LAN、Bluetooth無線技術での無線通信は使用できません。

■ 水中で使用中的ご注意

- 水深50.0m以内、水温0°Cから40°Cの範囲内の場所で使用してください。
- 水中で30分を超えての連続使用はしないでください。
- 水中でのカバーの開け閉めはしないでください。
- 本機を故意に水中に落としたり、水面にたたきつけたりしないでください。漏水することがあります。

■ 水中で使用後のご注意

- カバーは、本機についた水滴や汚れを清潔で乾燥した柔らかい布で十分に拭き取った後、開いてください。
- カバーを開いたとき、カバーの内側表面に水滴がつくことがあります。水滴がついているときは、必ず拭き取ってからご使用ください。水滴が残っていると浸水や故障の原因となります。

■ 使用後のお手入れについて

砂や泥がついたり、水中で使用した後は、カバーをしっかりと閉めた状態で、以下の手順に従って本機を水洗いしてください。

1. 真水に浸して洗う。

- バケツなどに水道水などの真水を入れ、その中に本機を10分程さらし、ゴミ、泥、砂などが良く落ちるように本機を軽くゆすりながら洗います。
- 汚れたままのレンズ面は、こすらないでください。



2. 水気を拭き取る。

- 清潔で乾燥した柔らかい布で本機の水気を拭き取ってください。水気を拭き取り終えたら、風通しの良い日陰で完全に乾燥させてください。水分が残った状態でカバーを開けると浸水や故障の原因となります。

✪ 重要

- 水洗いは30°C以下の水道水で洗ってください。水漏れや故障の原因となりますので洗剤や熱湯、強い水流で洗わないでください。
- 本機を振り回して水切りしたり、ドライヤーなどで強制的に乾燥させないでください。
- 洗濯機などで洗わないでください。

■ 使用後のご注意

- 低温下(水が凍結するような場所)、または高温になる場所(特に強い太陽光の当たるところ、炎天下の自動車内など)に放置しないでください。防水性能を保てない場合があります。
- 洗浄、防錆、防曇等の目的で薬品類は使用しないでください。防水性能を保てない場合があります。
- 水中で使用後は、60分以上放置せずに、「使用後のお手入れについて」に従って水洗いしてください。本機の外観不良、防水性能劣化の原因となります。
- 防水性能を維持するために、1年に一度防水パッキンの交換をお勧めします(防水パッキンの交換は有料になります)。防水パッキンの交換につきましては、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ その他のご注意

- 本製品の付属品のマイクロUSBケーブルは、防水性能はありません。
- 本機に極度な衝撃が加わると、防水性能を保てない場合があります。
- 寒冷地では本機に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因になります。水滴が付着したまま放置しないでください。
- 取り扱い上の不注意により、万一、水漏れ事故を起こした場合、内部機材(充電機、記録メディアなど)の損害、記録内容、および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦願います。
- デジタルカメラの水没事故は、当社では一切その責任を負いかねます。
- 使用時の事故(人身事故など)の補償はいたしかねます。

使用上のご注意

■ データエラーのご注意

本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。

- カメラの動作中にメモリーカードを抜いた
- 通信中にUSBケーブルが外れた
- 充電してもすぐに消耗してしまう電池を使用し続けた
 - 充電してもすぐに消耗してしまう電池を使用し続けると、カメラが故障する場合があります。すみやかに新しい電池に交換してください。
- その他の異常操作

■ 使用環境について

- 使用可能温度範囲: $-10\sim 40^{\circ}\text{C}$
 - 電池の温度が 0°C 未満の場合、無線LAN接続によるデータの送受信はできません。
- 寒い場所では、電池の特性上、十分に充電されていても使用時間が短くなります。
- 使用可能湿度範囲: $10\sim 85\%$ (結露しないこと)
- 次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光の当たる場所、湿気やホコリ、砂の多い場所
 - 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
 - 日中の車内、振動の多い場所

■ 結露について

- 真冬に寒い屋外から暖房された室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く場合があります(結露)。結露が起きた状態ではカバーの開け閉めをしないでください。故障の原因となります。

■ レンズについて

- レンズ面は強くこすったりしないでください。レンズ面に傷が付いたり、故障の原因となります。
- レンズの特性(歪曲収差)により、撮影した画像の直線が歪む(曲がる)場合がありますが、故障ではありません。

■ カメラのお手入れについて

- レンズ面には触れないでください。レンズ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮できませんので、プロアール等でゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- 本機が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

■ 充電式電池の取り扱いについて(リサイクルのお願い)



Li-ion 00

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

＜最寄りのリサイクル協力店へ＞

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

・ ホームページ <http://www.jbrc.com/>

■ 使用済み電池の取り扱い注意事項

- ・ プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- ・ 被覆をはがさないでください。
- ・ 分解しないでください。

■ 無線機能(無線LAN、Bluetooth無線技術)の使用上のご注意

- ・ この製品は、無線を利用しているため、周りの機器に影響を与えたり、影響を及ぼされる可能性があります。
- ・ 本機は米国再輸出規制(EAR)の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。

使用周波数について

本機は2.4GHz帯周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。

他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

本機は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。

使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- ・ 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- ・ 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
- ・ その他、電波干渉が発生した場合などお困りのことが起きたときは、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」に記載されている連絡先までお問い合わせください。

周波数の見方について

無線LAN



この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SSおよびOFDM方式を採用し、与干渉距離は20mです。

Bluetooth
無線技術



この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SSおよびその他の方式を採用し、与干渉距離は10mです。

電波転送の傍受について

電波によるデータの送受信は第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

不正アクセスについて

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、当社では一切の責任を負いかねます。

無線機器としての利用について

本製品の無線機能は、この取扱説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途で使用して損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねます。

磁場・静電気・電波障害について

電子レンジ付近など磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。環境により電波が届かないことがあります。

また、2.4GHz帯の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

公衆LANへの接続に関して

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

仕向地について

本機の無線LAN機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規格等に違反するおそれがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

■ その他の注意

- 使用中、本機は若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- 別売の液晶コントローラーを使ってカメラと離れた場所から撮影する場合、撮影できる範囲は約10mです。また、液晶コントローラーの液晶モニターに映像を表示できる範囲は約5mです。
- 別売のリモートコントローラーを使ってカメラと離れた場所から撮影する場合、撮影できる範囲は約8mです。

■ 著作権について

カメラで記録した静止画や動画は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。ただし、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、これらのファイルを有償・無償に関わらず、権利者の許可なく、ネット上のホームページや共有サイトなどに掲載したり、第三者に配布したりすることも著作権法や国際条約で固く禁じられています。たとえば、録画したTV番組やライブコンサートの映像、音楽ビデオなど自分で撮影や録画したものであっても、動画共有サイトなどに掲載したり配付したりすると、他者の権利を侵害する恐れがあります。万一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本文中の以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。なお、本文中には、™マーク、®マークを明記していません。

- microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Windows, Windows 7, Windows 8.1、およびWindows 10は、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。
- Macintosh, Mac OS, QuickTime, iPhoto、およびiPhoneは、Apple Inc.の商標です。
- iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Adobe, Reader はAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- AndroidおよびGoogle PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- iOSは米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by CASIO COMPUTER CO., LTD. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、カシオ計算機(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

- G'z EYEは、カシオ計算機(株)の登録商標または商標です。
 - その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。
- 本製品に弊社が提供しているソフトウェアを、無断で営業目的で複製(コピー)したり、頒布したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。

■ オープンソースソフトウェア (Open Source Software) について

本製品には、以下のライセンス条件に基づいてライセンスされているソフトウェアが含まれています。

OpenVG 1.1 Reference Implementation

Copyright (c) 2007 The Khronos Group Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and /or associated documentation files (the "Materials"), to deal in the Materials without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Materials, and to permit persons to whom the Materials are furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Materials.

THE MATERIALS ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE MATERIALS OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE MATERIALS.

bluedroid 5.0.0_r2

Copyright (c) 2014 The Android Open Source Project
Copyright (C) 1998-2014 Broadcom Corporation

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

Apache License
Version 2.0, January 2004
<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction,

and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 - (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 - (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 - (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
 - (d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or,

within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. **Submission of Contributions.** Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. **Trademarks.** This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. **Disclaimer of Warranty.** Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. **Limitation of Liability.** In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

bluedroid 5.0.0_r2

Copyright (c) 1998-2008, Brian Gladman, Worcester, UK. All rights reserved.

LICENSE TERMS

The redistribution and use of this software (with or without changes) is allowed without the payment of fees or royalties provided that:

1. source code distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer;
2. binary distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in their documentation;
3. the name of the copyright holder is not used to endorse products built using this software without specific written permission.

DISCLAIMER

This software is provided 'as is' with no explicit or implied warranties in respect of its properties, including, but not limited to, correctness and/or fitness for purpose.

libhardware 5.0.0_r2

Copyright (c) 2005-2014, The Android Open Source Project

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

Apache License
Version 2.0, January 2004
<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions

to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 - (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 - (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 - (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and

attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

- (d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. **Submission of Contributions.** Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. **Trademarks.** This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. **Disclaimer of Warranty.** Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. **Limitation of Liability.** In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. **Accepting Warranty or Additional Liability.** While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

充電について

■ 充電中にカメラの【POWER】ランプが赤色に点滅したときは

充電中にカメラの【POWER】ランプが赤色に点滅したときは、以下のいずれかの場合により充電できないことを示しています。説明に従って処置したあとに、再度充電してください。

周辺温度または電池の温度が、高温または低温状態である場合

USBケーブルを抜いて常温でしばらく放置したあと、周囲の温度が15°C～35°Cの温度範囲で充電を再開してください。

タイマーが動いた場合

電池の未使用期間が長期化した場合や、パソコンの種類や接続環境によっては充電時間が延びる場合があります。充電時間が約5時間を超えると、タイマーが動き、フル充電でない場合でも充電を停止します。

また、電池の未使用期間が更に長期化した場合は約60分で充電を停止することもあります。

1) 長期間充電しなかった場合

USBケーブルを一度抜いて、再度差し込んで充電を再開してください。

2) パソコンで充電する際、接続環境によって十分な電力を供給できない場合

USB2.0準拠のUSB端子からのみ充電できます。500mA程度の電流供給ができるUSBポートに直接差し込んでください。

パソコンの給電能力については、ご使用のパソコンのメーカーにお問い合わせください。USBケーブルを一度抜いて、再度差し込んで充電を再開することもできますが、給電能力が低いパソコンの場合は、この動作を繰り返さないとフル充電にならない場合があります。

上記の処置をしてもエラーが起こる、または5時間を超えても充電が終了しない場合は、電池の不良が考えられます。別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ先」にお問い合わせください。

電池に関するご注意

■ 使用上のご注意

- 寒い場所では、電池の特性上、十分に充電されていても、使用時間が短くなります。
- 15°C～35°Cの温度範囲で充電してください。範囲外の温度では、充電時間が長くなったり、十分な充電ができないことがあります。
- 電池の外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- 充電直後でも電池の使用時間が大幅に短くなった場合は、電池の性能寿命と思われるので、新しいものをお買い求めください。なお、古い電池は使用せずに充電式電池リサイクル協力店へお持ちください(53ページ)。

■ 保管上のご注意

- 充電された状態で長期間保管すると電池の特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保管してください。
- 使用しないときは必ず電池をカメラから取り外してください。取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、電池が消耗し、充電に時間がかかったり、カメラが壊れたりします。
- 乾燥した涼しい場所(20°C以下)で保管してください。
- 過放電を防止するために、電池は半年に1回くらいの割合で一度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。

海外で使うときは

■ 予備の電池について

- 旅先で電池が切れて撮影ができなくなってしまうことを防ぐため、フルに充電した予備の電池(NP-150)をお持ちになることをおすすめします。
- 電池はお買い求めの販売店またはe-casio カシオオンラインショッピングでご購入ください(URL: <http://www.e-casio.co.jp/>)。

メモリーカードについて

使用できるメモリーカード、メモリーカードの入れ方については17ページをご覧ください。

■ メモリーカードについて

- 画像を再生したときに異常が発生した場合などは、フォーマット操作(24ページ)で復帰できますが、外出先などでこの操作ができない場合に備えて複数枚のメモリーカードをお持ちになることをおすすめします。
- メモリーカードは撮影/消去を繰り返すとデータ処理能力が落ちてくるので、定期的にフォーマットすることをおすすめします。
- 静電気、電氣的ノイズ等により、記録したデータが消失または破壊することがありますので、大切なデータは別のメディア(CD-R、CD-RW、ハードディスクなど)にバックアップして控えをとることをおすすめします。

■ メモリーカードのご使用上の注意

- メモリーカードの種類によっては、処理速度が遅くなる場合がありますので、できるだけ超高速タイプのメモリーカードをご使用ください。ただし、超高速タイプのメモリーカードであっても、すべての動作を保証することはできません。動画の画質設定によっては、記録時間がかかるため、画像が一瞬途切れたり、音声が中断する場合があります。
- 当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。詳しくは、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイトの「デジタルカメラお客様サポートメニュー」(<http://casio.jp/support/dc/>)をご覧くださいか、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」にお問い合わせください。

■ メモリーカードやカメラ本体を廃棄/譲渡するときのご注意

G'z EYEアプリまたは別売の液晶コントローラーを操作して、本機に入っているメモリーカードをフォーマットしたり画像を消去しても、メモリーカード内のファイル管理情報だけが変更され、データそのものが変更されないことがあります。メモリーカード内のデータは、お客様の責任において管理してください。たとえば以下のような手法をおすすめします。

- 廃棄の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する。
- 譲渡の際は、市販のデータ消去専用ソフトなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する。

また、本機を廃棄・譲渡する場合は、G'z EYEアプリまたは別売の液晶コントローラーを操作して本機をフォーマットして、内蔵メモリーのデータを完全に消去することをおすすめします。

リセット操作でリセットされる内容

G'z EYEアプリまたは液晶コントローラーでのリセット操作でリセットされる(初期値になる)内容の一覧表です。

—:この記号の設定項目はリセット操作には影響がありません。


重要

- 撮影モードによって使用できないメニュー項目があります。

■ 撮影メニュー

メイクアップ*	肌の色:0(切) 肌のなめらかさ: 0(切)	ホワイトバランス	オートWB
動画手ブレ補正	標準	ISO感度	オート
動画画質	FHD	風音低減	切
明るさ	0.0		

■ セットアップメニュー


カメラのLED設定	明るい	日時設定	—
回転ロック	ロック		
カメラ音			

■ 無線設定

自動送信	切	無線LAN	—
送信時リサイズ	3M	パスワード	—
位置情報	切	ペアリング解除	—

故障かな？と思ったら

現象と対処方法

現象	考えられる原因と対処
電源について	
電源が入らない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) お買い上げ直後、電池は充電されていません。充電してからご使用ください。 2) 本機の電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(10ページ)。それでもすぐに電池が消耗するときは、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
電源が勝手に切れた。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本機の電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(10ページ)。 2) カメラの温度が一定温度を超えたため、保護動作が働いた可能性があります。カメラの電源を切ったまましばらく放置し、カメラの温度を下げたからお使いください。 3) 電源を入れたあと、【POWER】ランプが赤く点滅して電源が切れることがあります。この場合、レンズエラーなどの内部エラーが考えられます。電源の入/切を繰り返したり、電池を充電してください。それでも解消しない場合は、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
電源が切れない。ボタンを押しても、カメラが動作しない。	カメラから電池をいったん取り出し、入れ直してください。
充電について	
【POWER】ランプが赤く点灯せず、充電できない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) カメラに接続しているUSBケーブルを抜き差ししてください。 2) カメラの電源が切れた状態で、USBケーブルを接続してください。電源が入った状態でUSBケーブルを接続すると、充電が開始しない場合があります。
撮影について	
【  /SLOW】を押しても撮影できない。	【SYSTEM】ランプが赤色で点滅している、または別売の液晶コンローラーに“メモリー残量が足りません”と表示されている場合は、パソコンに画像を転送後、不要な画像を消去するか、別のメモリーカードをセットしてください。
ピントが合わない。	レンズが汚れている場合は、レンズの汚れを取ってください。
画像にノイズが入る。	被写体が暗いとカメラの感度が自動的に上がるため、ノイズが発生する場合があります。ライトなどを使用して明るくして撮影してください。
撮影したのに画像が保存されていない。	記録が終了する前に電池切れになった場合、画像は保存されません。
風景が明るいのに人物の顔が暗くなってしまった。	人物が光量不足です。
海岸やスキー場で撮影すると被写体が暗くなる。	海岸や雪面からの強い光の反射に露出が合っているため、露出不足になっています。

現象	考えられる原因と対処
動画撮影中に画像がぼける。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 撮影範囲外のためピントが合っていません。撮影範囲内で撮影してください。 2) レンズが汚れている可能性があります。清掃してください(52ページ)。
無線機能について	
無線に接続できない。接続が途切れる。	<ol style="list-style-type: none"> 1) カメラとスマートフォンが離れていると、カメラに接続できません。 2) スマートフォンが他の無線機器と接続している可能性があります。スマートフォンのWi-Fi設定で、本機が選ばれているか確認してください。 3) 電子レンジやコードレス電話機、他の無線機器などを近くで使用している場合は、接続が途切れることがあります。機器から十分に離してお使いください。
パスワードを忘れた。	<p>カメラの【G】ボタンと【SLOW】ボタンを押したまま【POWER】ボタンを6秒以上押し続けます。カメラの【POWER】ランプが消灯し、パスワードが初期値に戻ります。なお、パスワードを初期化すると、以下の登録が解除されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カメラとG'z EYEアプリの登録 • カメラと別売の液晶コントローラーの登録 • カメラと別売のリモートコントローラーの登録
その他	
パソコンにUSB接続しても画像が取り込めない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) USBケーブルが確実に接続されていない可能性があります。コネクタ端子部を確認して、確実にカメラに接続してください。 2) カメラの電源が入っていない場合は、電源を入れてください。 3) USBケーブルをUSBハブなどを經由してパソコンと接続すると、正常に認識しない場合があります。USBケーブルはパソコンのUSB端子に直接接続してください。
電源を入れた直後、ボタン操作ができない。	メモリーカードの容量が大きい場合、電源を入れてからボタン操作ができるまでの時間が長くなります。

【SYSTEM】ランプについて

【SYSTEM】ランプが赤色で点滅しているときは、以下の理由のため撮影できません。不要なファイルを消去してください。それでも【SYSTEM】ランプが赤色で点滅している場合は、電池を入れ直してから、再度カメラの電源を入れてください。

- メモリーの空き容量が足りない
- 999番のフォルダーの中に9999番のファイルが登録されている
- その他のシステムエラー

撮影可能枚数／撮影可能時間

静止画

静止画サイズ (pixels)	画像ファイル サイズ	内蔵メモリー※1 での撮影枚数	microSD メモリーカード※2 での撮影枚数
6M(3008×2256)	4.10MB	8	2508

動画

設定内容/ pixels	転送レート (フレーム/秒)	1ファイル 最大サイズ	内蔵 メモリー※1 での 撮影時間	microSD メモリー カードでの 最大記録 可能時間※2	1分録画時 のファイル サイズ
FHD 1920×1080	14.4メガビット/秒 (30フレーム/秒)	29分まで	26秒	2時間9分	108MB
STD※3 640×480	3.9メガビット/秒 (30フレーム/秒)	4GBまで	1分36秒	8時間8分	30MB
HS240※3 512×384	40メガビット/秒 (240フレーム/秒)		9秒	44分	300MB
HS120 640×480	40メガビット/秒 (120フレーム/秒)		9秒	44分	300MB

※1 内蔵メモリーをフォーマット後の容量(約14.8MB)の場合です。

※2 16GB microSDHCメモリーカード(SanDisk Corporation製)の場合です。使用するメモリーカードによって撮影枚数・記録時間は異なる場合があります。

※3 G'z EYEアプリまたは別売の液晶コントローラーで設定できます。

- 撮影枚数／撮影時間は目安(おおよその数値)であり、画像の内容によって少なくなることがあります。
- ファイルサイズ／転送レートは目安(おおよその数値)であり、撮影対象によって変化することがあります。
- 容量の異なるメモリーカードをご使用になる場合は、おおむねその容量に比例した枚数が撮影できます。

主な仕様／別売品

画像ファイル形式	静止画: JPEG(Exif Ver.2.3)、DCF2.0準拠 動画: MOV形式、H.264/AVC準拠、IMA-ADPCM音声(ステレオ)
記録媒体	内蔵フラッシュメモリー (画像記録エリア: 14.8MB) microSD、microSDHC、microSDXC
記録画素数	静止画: 6M(3008×2256) 動画: FHD(1920×1080 30fps) / STD(640×480 30fps ^{※1}) / HS240(512×384 240fps ^{※1}) / HS120(640×480 120fps ^{※1})
有効画素数	690万画素
撮像素子	1/2.3型CMOS (裏面照射型) 総画素数: 2114万画素
レンズ/ 焦点距離	F値: F2.8 焦点距離: f=1.35mm(35mm フィルム換算で13.0mm)
ズーム	デジタルズーム: 4倍 ^{※1}
フォーカス	パンフォーカス
撮影距離 範囲 (静止画) (レンズ 先端から)	パンフォーカス: 約40cm~∞
通信機能	Bluetooth: • 通信規格: Bluetooth® 2.1+EDR 出力クラス: Class2 Bluetooth® 4.1 無線LAN: • 準拠規格: IEEE 802.11b/g/n • 使用周波数範囲: 1~11ch • 暗号化方式: WPA2
外部 接続端子	マイクロUSB端子(Hi-Speed USB準拠、USB充電)
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
電源	リチウムイオン充電電池 (NP-150)×1個

※1 G'z EYEアプリまたは別売の液晶コントローラーで設定できます。

電池寿命

下記の電池寿命は温度23°Cで使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間または保証枚数ではありません。低温下で使うと、電池寿命は短くなります。

静止画撮影枚数 ^{※1}	約355枚(カメラ単体動作時)
動画実撮影時間(FHD動画) ^{※1}	約1時間10分(カメラ単体動作時)
動画連続撮影時間(FHD動画) ^{※2}	約1時間35分(カメラ単体動作時)
動画連続撮影時間(ハイスピード動画HS240) ^{※2}	約1時間40分(カメラ単体動作時)

- 温度: 23°C
- 使用電池: NP-150(定格容量: 950mAh)
- 記録メディア: 16GB microSDHCメモリーカード(SanDisk Corporation製)

※1 CIPA(カメラ映像機器工業会)規格に準ずる

※2 カシオ基準による

- 前記は、新品の電池のフル充電状態での数値です。繰り返し使用すると、電池寿命は徐々に短くなります。
- この数値は実際の使用での電池寿命を保証するものではありません。
- 使用頻度や電源が入った状態の時間、その他設定、使用時の温度により、撮影時間または枚数は大幅に異なる場合があります。

消費電力 DC 5V 約3.6W

外形寸法 高さ75mm×幅74.1mm×奥行き46.4mm

質量 約172g
(電池、メモリーカード含む)

■ リチウムイオン充電電池 (NP-150)

定格電圧	3.7V
定格容量	950mAh
使用周囲温度	0~40°C
外形寸法	幅34.2mm×高さ39.8mm× 奥行き6.9mm(突起部除く)
質量	約20g

■ 別売品

(2017年8月現在:発売予定品含む)

- USB-ACアダプター AD-C54UJ
- リチウムイオン充電器 BC-150L
- リチウムイオン充電電池 NP-150
- リモートコントローラー GEC-1
- 液晶コントローラー GEC-10
- チェストマウントハーネス GEA-1
- スタンド付カラビナ GEA-2
- ジンバル GEA-3
- マルチアングルスティック EAM-4

上記をはじめとする別売品の最新情報については、携帯電話やスマートフォンで下のQRコードを読み取るか、下記アドレスに接続して、Webサイトでご確認ください。
また、カタログでもご確認いただけます。



<http://casio.jp/dc/option/>

別売品は、お買い求めの販売店、またはe-casio カシオオンラインショッピングにご用命ください。

URL: <http://www.e-casio.co.jp/>

CEマーキングは、ヨーロッパ地域の基準適合マークです。



Manufacturer:
CASIO COMPUTER CO., LTD.
6-2, Hon-machi 1-chome, Shibuya-ku, Tokyo 151-8543, Japan

Responsible within the European Union:
Casio Europe GmbH
Casio-Platz 1, 22848 Norderstedt, Germany
www.casio-europe.com

To comply with the relevant European RF exposure compliance requirements, this GZE-1 must not be co-located or operating in conjunction with other transmitter.

Note: This equipment is intended to be used in all EU and EFTA countries. Outdoor use may be restricted to certain frequencies and/or may require a license for operation.

For more details, contact your customer service representative.

Frequency band and maximum output power

- GZE-1
 - IEEE802.11b/g/n(2.4GHz) $\leq 10.5\text{dBm}$
 - Bluetooth(2.4GHz) $\leq 4\text{dBm}$
 - Bluetooth LE(2.4GHz) $\leq 8.5\text{dBm}$

Hereby, Casio Europe GmbH, Casio-Platz 1, 22848 Norderstedt, Germany, declares that the radio equipment type Digital Camera Model GZE-1 is in compliance with Directive 2014/53/EU.

The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:<http://doc.casio.com>

CAUTION

Risk of explosion if battery is replaced by an incorrect type.

Dispose of used batteries according to the instructions.

索引

英数字

DCF 規格	48
FHD 動画	32
G'z EYE アプリ	20
ISO 感度	34
microSD メモリーカード	17
microSDHC メモリーカード	17
microSDXC メモリーカード	17
USB ドライバー	45

あ

明るさ	32
位置情報	37
印刷	39

か

回転ロック	35
カメラ音	35

さ

撮影	25
自動送信	36
充電	10, 66
スリープモード	16
静止画	25
送信時リサイズ	37

た

耐衝撃性能	49
手ブレ	31
電源	10, 66
電池	10
電池残量	15
動画画質	32
動画手ブレ補正	31
登録解除	24, 38
ドラマチックスロー	26

な

内蔵メモリー	17
--------	----

は

バージョン情報	36
ハイスピード動画	32

パソコン	40
ファイル	47
風音低減	34
フォーマット	24, 35
フォルダー	47, 48
プリンター	39
プリント	39
ペアリング解除	38
防塵性能	49
防水性能	49
ホワイトバランス	33

ま

無線 LAN パスワード	38
無線設定	36
メイクアップ	31
メモリーカード	17, 68

ら

リセット	36
露出補正	32

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2